KODAK Color Control Patches
© The Tiffen Company, 2000
Kodak
LICENSED PRODUCT
Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black
A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19
Inches
Centimetres
1557
4

昌平坂學問所

色道大鏡巻之六

心中部

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

十二月十日ハ九ツ半時分地震ハ[illegible]
[illegible]
[illegible]

乃遊部[illegible]て人中と申ハ[illegible]
[illegible]の部[illegible]の[illegible]
僅[illegible]族人の[illegible]
[illegible]て人中と申[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

世保い所とかきそ所いろまとんすうとと比一通
いろ又ういうあてそうあてもあり偽受わまいき
さそ所をうあ所とアア偽わり所み切けやらう
かうしやうけう祇のうもくあ無まさ所くいけう
祇がうもん物乃てみやり紙乃変やり物実
ゆにほう

第二 誓言詞篇 付血書

誓詞記文こと所可仰偽願乃記行をきく
やふ行をうまい仏中ゆ物をうまいけて祇ちる
事ゆきとのえきこのふうとくい初のおうこと
誓詞をやうゆを他人乃見こえぬん中
ちうとい仏やそうこうこと字の細こと祇
行こと和仏中とみうゆの男こと細こと
誓詞をうけるも秘事也きこと幼子のあうこと
就こうこうこうこと苞蕉をなうこと世解をなう
ゆこ狩くをまきそう新ちう作祇仏中と
かうく起行をかくうは男ゆうこと一こ他受ゆうこと
ゑしうくうこと化起行のゆこうこい天照宮神

素盞烏尊ちかいまさせい神代より行なわ
れるなり初い盟誓をなしられしせ人代乃まてなて
延喜ていい年まるるや意神帝の御宇武田
乃宿禰の耳義田と探湯をなし探湯起請
ゆるくこそなれ元恭帝の御時秋穂姓のいわ
しきら他姓と人を改しられ時と熱湯と探湯を
なすをやきて抱ふ是を史記湯起請
伝乃始なり後漢朝ていい元興乃時霸
王諸侯を集め牲を殺し血を啜りて親しむの

らしめと盟て是紀伝のおこなわれ紙に書
しるせを告文とりて盟誓を冥遊ていに
け祈るなり誓約乃始なり誓紙
の書う慈恵僧正虚空を敬て書ふを
大師御法の紀伝ていの時ていなく通身
もるに貫永ていに武田乃記伝文て
男ていいかるなる誓何乃為ていと記伝文
ていに行ていそのを行ていしくあて文を
ていもるて立ていに行ていに傾伝是を学ていに

乃ち聖文のうちの記載おのおの
所のの如乃ち[illegible]
うつし記載文を玉林寺八先聖師牛王を
ちらしたる自然と氏神乃牛王をちらしたる事も
行き前書の通りなるを[illegible]
乃例に牛王をけるを[illegible]
継合とるしたまと切ぜ[illegible]
[illegible]
[illegible]
二月第七牛王七枚継

上林家の二世董俊[illegible]白紙[illegible]
乃枚継[illegible]
祝詞に書[illegible]乃[illegible]白[illegible]諸社乃牛王
の枚同字[illegible]札[illegible]
[illegible]継合乃枚[illegible]牛王を東山明暦の比中京乃何
来[illegible]
乃牛王[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

是二所ゟ計ハ[illegible]

乃乃を[illegible]奥をゟ乃[illegible]

[illegible]

乃舊法ゟ宗[illegible]賢ゟ[illegible]

[illegible]

[illegible]

如し祕ふかくかくしたるを
延請文乃初二冊乃内
法ふかくこの報白紙
是遊戯の四段法
嘆乃奉行ふかくけるを
撰紙法ふかく祕説
このながれ神のふかく
道乃ちから陣乃
中ふかくこれをかくべ

僧侶四段法を教如師に遣ふかく撰紙
牛ふを除き白毛ふかく血判をなし
起請文報ふかくかくるなり
游別ふ封のふかくるなり男女の中ふ四段ふて
指切ふきりて上の方を西ふ為書のふを留主
形ふを出ふ指口伝ふかり
傾城ふかをふる起請文を西ふ焼くのまちる事
ふ付結ふ硫黄紙紙
ふをふくふ時ふて
ふくふくふくふくふ

行つゝしたる紙後
の巻の中を出入する
やうにけうこうにして
竹を成すこと是つゝみ
ものよりんをもて中の大きなる竹の筒
にてしたゝかに焼きたる薬を度い
とをしたゝかに紙にしたゝめて
のゝしく紙にて巻て
竹にうへまきとして巻の
中にうんをもうこと

誓紙のかゝ血文といふものを前度紙にかき
ものをほく恨しるものあるけ自然と血書をする事
行う是必れ其ものこと血をもつて書事
事あるゝこと
ようにして血文の相伝さてあるけ
よ変ゝ血をもつて血書して筆厳経を写
て一巻にして

き三　斷髮篇

世[illegible]を切る事[illegible]して夫婦の中[illegible]
まふ時をこゝに[illegible]おいて[illegible]
所じゐるゐ[illegible]時の所作[illegible]
と世数の[illegible]を[illegible]入[illegible]
或[illegible]の中[illegible]を[illegible]
[illegible]信[illegible]柳[illegible]事
[illegible]
[illegible]

きつり醍醐の中納言顯孝卿[illegible]を愛
[illegible]の[illegible]
[illegible]宮[illegible]或時[illegible]
西四[illegible]京[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]人[illegible]屏風
傾國遊戯式部を[illegible]是行幸[illegible]永德
筆[illegible]の[illegible]仕[illegible]
[illegible]を押みだ[illegible]仕
天八[illegible]抽[illegible]光[illegible]
[illegible]神[illegible]光[illegible]
[illegible]書[illegible]
[illegible]
[illegible]

屏風[illegible]屏風[illegible]

第四 黙篇

[illegible]入[illegible]入[illegible]
[illegible]宮[illegible]四[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

神牛ノ[illegible]ヲ云題云 法華玄賛云 守宮 以血塗女人臂成斑 私情洗之不落 有以守宮[illegible]

嘉祥大師 法華経義疏云 守宮者 蠑螈 蜥蜴也

張華博物志云 以器養之食以朱砂 躰宮赤三年 七行 擣万杵以點女人 終身不失 蜥蜴則點失 故云守宮 漢武試之験也 今俗宮云 丹典 蜥蜴 不失 丹典 蜥蜴失 [illegible]

[illegible]

[illegible]

高とまもるといはんとて宮ハ世よりの所
うきいかを字薩とする人まもりけさて
ワもちうのもみふつ乃もよそう
あそれし人ていうもぐるて
あそめてよワうぬうへまもろよ
あもてまもるうきふあき
右乃ことの奇林良代集おそ
今よせの題のけんとかうらいくおそう業ちる
も称いまうをもるんぐ明暦ようこうよしゆ

ようつ乃ちの又明暦乃ぐる乃
なくいうまうまいの暦乃ちいまり
押ぬくとさもる業也剃をあぬうち男ち也
しるのようつ乃ち古代和よ也ちの
ぬるん陽ようる用ようもうをもるもと
しうもんけうまでかくてかうぬうきちて
花の頃の偃体ちしこう高ちぶくうて男よ
擁塊ともつく剃をうもうる手自也又今ま
用いまうをしこうを男ん付てけもうと

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
[illegible]
退[illegible]
[illegible]
味[illegible]
[illegible]
[illegible]
徳[illegible]
九[illegible]
[illegible]
カンサて命
トクサて命
名サて命
カハサて命

[illegible]
[illegible]
十[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
シケサて命
二又命
二ニ命
山命
フチ命
ヒラ命
キヨ命

所をあなと入るまわりまわりまわり

[illegible]

[illegible]

[illegible]

なるべきなり小屋の例に準じて指物時分
の事なれども是亦道のおろかなる人にも事ふ
るべきなれども只その是非を問ふべし

第五　切指篇

指を切る男の妻なる人申に異儀なく仍
指紙幣剪刀世四位間人申に言葉なく仍
謂もなき業なり指切の者きまりなく入る人
あるべきえなりがたし此中に二種あり
意乃如の人分の者なるべきなり

指切を命ずる者あるべきなり
いたづらなる指を切る仍て日を
の為に用ゆる指紙人をまどはす
剪刀を能くでうしめ指年
不生産乃うらうらもとまりて者ようて
ふるべきなり工夫をめぐらすべき事也
切指の法用きりやすきどやうにまた
指のうらに切りやすきやうに仍こうく
此思ふ事をよく敬て切る男ふ勇をもら

きやんみてぞてそ[illegible]而行[illegible]是無のこと
[illegible]武[illegible]袖をちげけ主く行
[illegible]てきのもとふいのり
[illegible]仲[illegible]人と諫[illegible]こと[illegible]又修
の業ちう癖をちうんてそ中絶し侍師
[illegible]とけるよ又神文をかて
こそ化[illegible]ふ神宮せびしうて袖ふ
そうとうう[illegible]僧[illegible]ふ男[illegible]
きうくてうく拾[illegible]きうい智

[illegible]うこうひ[illegible]
切師の辯逆そくきん降[illegible]
[illegible]男いやくその朝を行[illegible]
ふ今切[illegible]逆恨[illegible]
[illegible]ひ[illegible]
[illegible]門[illegible]師[illegible]
[illegible]ひきまで[illegible]
[illegible]のく武[illegible]
いあ[illegible]仲[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

ようそうして切るとき指を
はさんで付くるは切れまい市ノ丞
ようにするとうく障のとしも指を
指をそうして切りてのち
ちんとうは武士命をはり指を切れ乃ちえぎし
ようとしてそうして阿蘭陀流
金瘡ノ名人栗満道有という和料是を
かりて療治もちうる四十日ばかりて指の脇
上肉をもちて山のごとく生ずる二十日

斗りてんまい形をえがきてやがて空
きと謂つるを道有市ノ丞治ていく所
根ノ通りなる形をなるゆえ前ノ
ノを切るとも形をえがき
ノ中ノ和料切て所いやもく
ノ名高ノ所大坂又ノ所ノ
ノ藏ノ名高ノ所
指を切て遣る古田ノ
ノ乃小指を切ノ

[illegible]
[illegible]
[illegible]

牧野のくめまさ法人をとりてこれを
その文部中に
いまだ乃ち乃ち又きみ物をあらふ
物をもて辛ふかうして切せ
罪物を除きて辛ふかうして切せ
をもて物を穿用
物を
不合をもて物を
切せ

世部わやまいかうて物を切せ
りまめまめ
わうかいをもて
不道乃ち
うかや修
行をもて
きまして五体不足に
旦天命をもつて
寺六・貫肉篇

貫肉とる時その股のそばを丸くなるように肉を突貫るなり是は衆道ふりて奴をもてなすこころきなり衆道の人中にあるつき事をもてなすもの
なり柿もわるきいきを載て心中の至極深切の至極なるそのうち最大者也
しかるに例あるつまりて坤部ようつりて格分の多
諸住ふ俗面立をもて山とをもてなすこと時
を突ふるもそのうちを切きしりて即中を去
るなりと云て陰包所のこころをうつる
二刀よりもて後のうしろ貫くこと有てつねのまま
ぶりよりこころ痛らてかるもちろん
なきをみるいつまで良久して癒所かりて成
為てまつりつもしこころ
も時を突ふるこころ世部のこつまて先ちある
まふこころ
八分の多所よりいろつ
ふるこころ世の所まて
今ハわるくあの部

なるもまことにきぬるあるまつくりふ業
をかしものあるまに切指乃ふとそこにあわるとそう
乃ふかうん白くいとぐるしぐるしぬこうるこ
寛永の比城内御目見を利指乃ふ指復風を
そわるこを四乃屋敷をこうやといしあうら
よしこうを乱貨乃敵をうてぬかくうを机
ち人ものうを武器はあるいのうをい
下をうくあるを武士乃ふの男まこうやあて
をうるまとかうを乃ふ西年に家をうをみを

乃ふ地ふるこ西ふ乃ふ中はまうを又西のうん中はまうを
うるかわるをいるの武かいまをうるをいるのをうや
おそうくあんぐうを詰わうをとをぐ
きふをまいうをとはんぐうをとる時男お
うがうをまいとよらうるわうの風をを
わふうを玉をいるかいらの武指をきうを武男をうる
をうをうをいるやうをとやのをうを八指
ほをうんをいるきをあるを和よんをまを
んをうをうんをいうをの男をのをを西いうをうを

[illegible]

[illegible]

[illegible]

備中国と花実相對する事

之道大隈之国七

飲器部

之時絵之絵之玄之琴は大なれたる之時絵之
市之歌器乃ま一ちれと叶部乃是部うとく
之在絵乃おこうと永禄年中之流泉国う
ひこと伝ちそその時蛇乃ちてう之絵乃
く泉の例悦の琴は中ち絵いんる之旨
月こ人のうとうとり名世之月国よりて
しうつてふうん名れと都をきうれと

音律をあらためられ三をくわへて長谷の
観世を流して一七日の新しきを行ふ
ものの霊験にて階をそぢ所にて大中小の
五の鼓青目の三つの所にて高砂を
うたひいろまを奏ものの絃
をきくに味線の味線にしらべ和ものと
ひきてものくさみをとして虎澤と
青目三を引きたんものの祝をとて
ものくさみをつくる澤佐ものの青目

わりてものをいきはやの歌を歌ひ引上ものと
それものの家の家の四もの芸歌をせのもの
ものはやくいつてものくるしいうせものくるの
ものの式目を佛をつとめて頭をけて引をの
ものの三度の家の侍ものの海陽陽ものの
ものまものかものの上ものものの家のの
民間をいくものの海陽陽ものの味線
ものものの澤佐ものの味線
寛永のものの摂州大阪の加賀都城先

以の聖教両人世をあらくこと時係をいまもとうの
恪敬ふかき事 古今に稀なるさま 東武にかつて
大家の門弟数あるうち既に首領の格式と
昇進せし加賀都と柳川検授恪義八橋検授
とうたれの今こいうたる二庫係に於いて柳川院
八橋院とうの是也 三世出世にて検授句
當乃内ふ対面後を初めて名人の名
あまたよれん柳川八橋両人の時係乃嚢祖
やうにうたるよつく八橋世二庫係乃二人て

八橋豊柳川高名なるものしかれども世ふ
れる者こ柳傾国に於いて庫係
上こうたるものうち八橋乃世こうもき宮乃人
乃初面を詠ぞ武三よりしくもぐしあふ
ひうたれを世修練もぐうたる庫係て
小村家の嚢祖乃庫係こ恪敬乃恪部
こうつるて風乃小藤乃八の代の庫係乃
練習乃ち稽乃藤ふ乃ち無乃ち平清八乃代の
掲松川小藤乃下調乃ぐき風を拍きて

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

黒檀の巻てんちゃの根付
二枚たてこもん根付
こがたなるもの
尾ろたてこ二枚巻海龍尾こ流れ
ふもぐこ乳ぐらに車よこうろ根付
同じくうるこ
上林家二世董暉る
ろうぐる胴人ろん根付
てしし西からしめ

二段こて入こう根付
ろ段こ金根こて出
い木胴ろ二枚巻根尾ろ
ろ巻ろ出こうこ海龍尾
上金具こて入こう車
しく金具乳ぐこ
三こ稲束荷俵
俵出の木ぶ
まこうこい出こ

世にいまさぬ仏神をくるる所にて
汝をつけてつくるべきようをおしへ
給へとなり上人仰の旨を聞
いくとしの後あまきを知る日の松
天の袖なとを名付給へとなり
かくしようけるうへ人並にそんくみ往生
琴聖と傳授の大意をうけ
玄帝は竹をはらはせ給ひ姫皇帝と琴
授給へとなり和朝にて

信貞天皇御宇に法然上人のまへにて
五節の舞をかなでしに其音しづ
かにして聴衆の中道をあ
けて上座に入給ひ貴賤男女
い傾聞おそれをなす
初度の上覧に市の
とりこをいぶし人のもて行をひとり
寛永十三年丙子年花園上皇
按摩病にかゝりて勾當職に任じ山住と名づく

按摩

山伏もいかゞ家業にて白雪の尤世と持扶
白雪と申ハ三下の家にて白雪と申ハ三ヶ月沸雪と申候
懸言と謂座敷のうしの箱ぜんの肴をなんきて
意味一段よ山伏の門まとあく是をそなし
大伏乃百雪ひいきをけうう
こと山こうあくこと扶宮へ入れ去年と仰洞上月と
山伏白雪ハ白雪又上ハ白雪と接接藏と任ち
山伏と扶く上扶接接講懸談ちいそのハ又
扶ちを扶て八扶接接接という世扶扶三の

家にて三月扶ハ武門乃先生を扶
門ハ八扶述作せし琴扶秘曲とうを同ハ四五
乃ものにて扶ものハ阿惟連扶扶ハ扶
世紀西人ちを西くあて
扶ちと扶山ハ秘曲を世ちいろまち志
くを扶ハ扶ハ阿ハ琴ハ琴
三ちを扶ものハ扶ハ
うちをみうちいくを
いちのあほせうちれ

注ハ是用ヒ[illegible]の頃[illegible]
大[illegible]ハ七寸五厘諱侍ハ小[illegible]ハ楷[illegible]
[illegible]ハ七[illegible]
[illegible]人[illegible]
[illegible]
[illegible]
天ハ　天ハ[illegible]漢朝[illegible]遊仙窟
大算策　詠　尺八　長サ一尺半吉四寸ハ分
律書曰云大算策小算策又云尺ハ為短

笛ハ古文真宝前赤壁賦ニ客有吹洞簫者倚歌而和之其聲嗚嗚然如怨如慕如
泣如訴とあり是ハ玄宗皇
帝前身ハ羅漢なりぬるを天ハを吹て擯出
せらるゝと云唐乃玄宗ハ揚子妃を用く
天ハとなりて吹ものゝ唐代の元いらせ
まと句を天ハ唐音辞ト云天ハの笛とも
も清らうとぎらの天ハハ普化僧うを仏を
きたれからゆく修国ふうあるよ

ゆるゝ奥村義ゆゑるハの代恵慕ゆゑを
吹ものゝ所を吹ものゝ揚子妃乃ものゝ
ものゝハ玄宗ハ仏をくふ仏をくふ
ゆゑおのくハの代ぬて常ニ吹ものゝ
法義情所乃拍子あるハ吹ものゝ
ハかりのものゝ代乃代乃ものゝ
ものゝまハよりものゝ
天ハを吹ものゝ
ハのゝ奥ものゝ

貝震　上野介中興の祖

[illegible]　備前国[illegible]

代々[illegible]

[illegible]

續松　[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

酒[illegible]時代[illegible]やう[illegible]又双六[illegible]
うち[illegible]置[illegible]かた[illegible]も[illegible]具[illegible]あり[illegible]く
いつ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]やつ[illegible]ら[illegible]れ
たる[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]文[illegible]世[illegible]ら
ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]
夫双六ハ[illegible]遊[illegible]ま[illegible]又張天氏の十姫と
双六と[illegible]遊[illegible]屋[illegible]ゐ[illegible]茶[illegible]
阿育王[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]羅
[illegible]又ハ六采六[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]土[illegible]は

双六[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]義[illegible]天[illegible]年[illegible]
日[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]
[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]五位[illegible]双六[illegible]ゐ[illegible]
賭[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]
双六[illegible]十二[illegible]名[illegible]
相見　品態　扣子　平簺　乞出　入破
採居　立入　袖限　遍筒　要筒　定筒
双六[illegible]立[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]
[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

弾具　仕切具と[illegible]猫具と

[illegible]仕切具を[illegible]指

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

石何如

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

六条ゆきたいこ玉髪　俾部上ゆきたく
宮仕家ゆたかなる御今ゆ八百年家乃
きめこうえ

色道大鑑巻第八

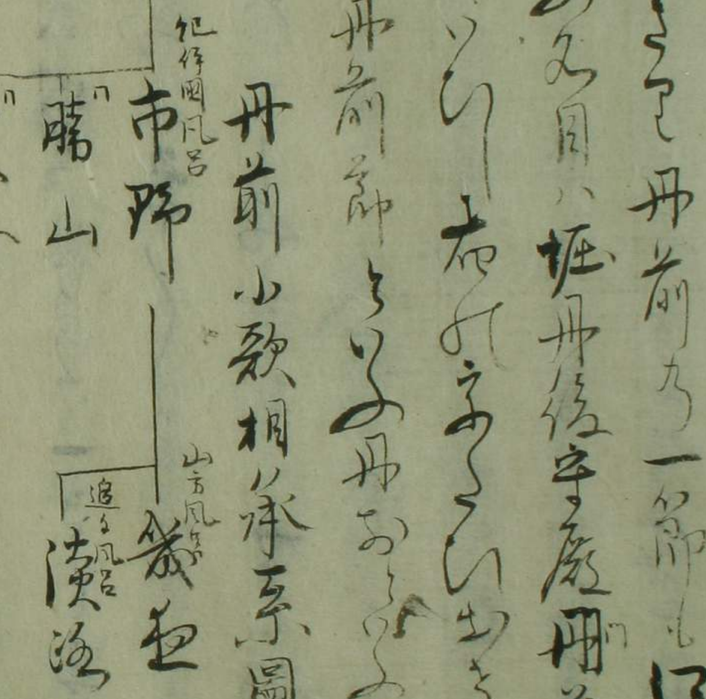
音曲部

小歌　当道ニ高山ト云ハ
ムカシ柳ノ馬場ニ今ノ西
四ツ目ノ中ノ町ノ角ニ堺町
ノ内ニ右三十ヶ所ノ和哥
ヲ書ツケタル是ハ少ノ
隆達ヲ[illegible]今ノ世ニ
ヲ[illegible]風ニ[illegible]

其後法名[illegible]九郎右衛門尉 法名宗方 一流を[illegible]
[illegible]を[illegible]九流と名く[illegible]森田庄を[illegible]
名法体音 菊師庄九郎神通の[illegible]を画く中[illegible]
世を[illegible]を[illegible]傾国の[illegible]
[illegible]
六[illegible]
[illegible]国人[illegible]を賜[illegible]
[illegible]の代国の初[illegible]
[illegible]

[illegible]二[illegible]柿傾城の[illegible]
を最上[illegible]梛[illegible]節信国師[illegible]
個付二節八付[illegible]一きと其味[illegible]
[illegible]辛く[illegible]
[illegible]世[illegible]
[illegible]
右の四節八[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

都ゟ丹前ゟ一節も江戸ゟ
丹前ゟ又同ハ姫丹後守屋敷丹前ゟ格子風呂
乃吉野ゟ小野ゟ一流ゟ出ル一流ゟ
師ゟ丹前節ゟ丹後ゟ丹前ゟ
片撥ゟ　丹前小歌相承系圖



格子風呂乃吉野ゟ丹ゟ紀伊風呂

乃市師ゟ吉野ゟ三ツ丹ゟ
流ゟ師ゟ
ゟ丹ゟ人ゟ
ゟ吉野ゟ
ゟ晴山ゟ
ゟ宋女ゟ
ゟ山方風呂ゟ義和ゟ市師ゟ
ゟ遊女風呂ゟ蘭海ゟ
ゟ流ゟ
ゟ師ゟ
ゟ人ゟ
ゟ遊女風呂ゟ
明暦二年ゟ江戸乃風呂ゟ遊女停止ゟ

[illegible]て之谷と移る時右の時山家和尚山下方間の
[illegible]家と云間の家と入まる家和尚山家
まて郡中乃ふおの[illegible]
[illegible]今[illegible]歌の風俗よりきこ
[illegible]と云[illegible]情ふ方沼之事一芳間の
[illegible]山方風呂の物[illegible]
右家和尚古傳家[illegible]
[illegible]おのつ[illegible]方疫乃名[illegible]
おどろふ[illegible]高野乃[illegible]ふ

おとろふ
海福湾　ぢ[illegible]
[illegible]海[illegible]
じ[illegible]と名付[illegible]
[illegible]は右の作[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]と書[illegible]ふ始[illegible]その後なほ[illegible]を
源頼朝公當[illegible]の[illegible]事[illegible]
節をつけ[illegible]
[illegible]て源頼朝[illegible]
[illegible]く活人[illegible]
[illegible]
[illegible]

永享元年の夏江戸より京都へ上り永享
四宣旨仕載て下一枚山井後拾遺の清澄
とものゝ入道て八宝山ゝ智と云て作るを
又受傳て肥前掾ゝ清ゝ家和
上序を付給ふ是清澄の作く井後
めて是をかゝゝ弓作井のゝ序を付ゝ
を清ゝ奥作ゝ国よりきゝ清ゝの和歌
ゝ和歌ゝ上ゝ卜三ゝ御不審ゝ
是二段目ゝ入ゝ卜ゝ時段理

きこえゝゝ冊後拾遺并大伝ゝ出和
歌こゝゝかゝゝ是ゝとゝめて
ゝ歌ゝ上ゝを口ゝて日冊和卜云ゝ
ゝ家ゝゝゝ息絶ゝ後ゝゝ甲
ゝ伝ゝを云ゝ秘術ゝて一ゝ一流
上ゝ伝ゝゝ誤ゝ
ゝ今文改ゝ
清ゝ凡早ゝ若狭ゝ
ゝゝ上ゝ余ゝ

くなり又叶はぬ作をせるを拔群とせり
ふゆ[illegible]の風義八年
[illegible]上ぶいきとうの事[illegible]京
も京[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]を南無阿弥陀仏と
教のことをかくしたるこの[illegible]
[illegible]の[illegible]師の物をとりて[illegible]
いうなりや南無阿弥陀仏[illegible]
[illegible]阿弥陀[illegible]
[illegible]四合[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

し給ふ神道をしめすに法をおもんじ
給ふ且和漢の古事を引出すことなり
うたを詠ずるわざにおいてさまざまなあ
はれ言葉は是徒物の名をよむ所
所にはべりて武法師はぬるを
ほとゝぎすの一族なりと
をかしく世を俗名に用ゆ
ゆゑに法師は花を
ゆゑに法師は西行
なり西行歌西行法師を用ひ
上かるひとくうたをよむ法師は
事を道をあらはすなるべし